



# 第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標

気づき・考え・挑戦する ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1

TEL 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>

相談室 TEL048-461-6698

令和6年12月2日発行

## 「表現する」とは何か

校長 近藤 克代

早いもので暦は12月、年の瀬です。夕日に染まる富士山が3階の渡り廊下からきれいに見えたと思ったら、日没はあっという間です。部活動等の諸活動が終了し生徒が下校する頃、あたりは真っ暗になります。そして、校門で立哨指導をしながら、下校を見守る教員たちは、友達や仲間と談笑しながら家路につく生徒達の姿を見て、「家に安全にかつ無事に帰ってほしい」と願い、一日の終わりを実感する夕暮れ直後、初冬の日課の一つです。



さて、今月のタイトル『表現する』とは何かですが、この内容は11月18日埼玉新聞の教育欄に掲載されていた記事を拝借しました。奇数月の朝に保護者、地域の方に本(絵本)の読み聞かせをお願いしています。そのわずかな時間にも素敵な物語の本を紹介していただいておりますが、記事には「フレデリック～ちょっとかわったねずみの話～」を取りあげられていました。作者はレオ・レオニ、翻訳は谷川俊太郎。イタリアの絵本です。主なあらすじは、怠け者に見えるフレデリックですが、冬ごもりをして食べ物も少なくなり沈んでいた仲間に、今まで見たこと、聞いたこと感じたことを仲間に話し始め、みんなで心が豊かな時間を過ごすことができたという内容。物語の解釈は皆さん自身で実際に読んでみて感じてほしいと思いますが、この記事を読み、改めて遠い昔に娘に読んで聞かせたこの本をもう一度読み返し、大事なことを教えてもらった気がしました。表現とは、『言葉』の伝え方、とらえ方(感じ方、解釈など)・・・多種多様です。しかし、現在、その『言葉』がAIにより簡単に文章作成ができ、情報も簡単に手に入れることができます。それはとても便利であり効率的でもありますが、多くの情報から正しく見極める力をつけることが大事であり、学校では、授業の中で新しい知識・技能を実際に生活や社会で活用できるようになることや、学校生活では、他者との関わりを通じて自分自身が思ったこと、感じたことを正しい『言葉』で伝えること(『表現力』を身につけること)は、これからの時代を生きるために生徒に身につけさせる力の一つとして、学校教育で大切であると、フレデリックから教えられた気がします。



本校では「生徒の意欲・関心を高め、主体性を引き出す授業の工夫～探究的に学んでいく生徒の育成を目指して～」という研究テーマを持ち、研修を重ねています。この研究を進めていく中で最も重要なのは、現状の把握を十分する必要があるという事実を受け、「学ぶ意欲のプロセスモデル(栃木県総合教育センター)」の資料を参考に研究を進めています。その実態把握調査から、生徒は「もっと知りたい」という知的好奇心や「賢くなりたい。できるようになりたい」という有能さへの欲求。「役に立ちたい、夢を実現したい」という向社会的欲求(人のためになりたい、思いやりの気持ち)が高く、学習の欲求や動機を大事にしていることが分かりました。一方、その欲求や動機を持ちつつも、「難しいことに挑戦しよう。やってみよう」という挑戦行動や、「自分の力で最後までやり遂げよう」という独立達成行動、「自分からやってみよう」という自発学習行動にやや課題が見られました。この結果を踏まえて、各教科では、より学習意欲を高めしていく工夫を実践しているところです。さらに、言語活動の充実を図りながら『表現する力』を身につけさせ、心豊かな心を育ませていくことも、研究の一つであると考え、実践しているところです。



ご家庭でも、見たこと感じたことなどを『言葉』で交わされ、『表現する』ことを大事に、お子様と一緒に年末年始を健やかにお過ごしになり、3学期が元気に迎えられることを願っております。